

優秀賞

○設計者

勝山 太郎

- 大阪府建築士会
- (株)日建設計 設計部門



○生涯学習館・図書館

山口市秋穂地域交流センター・ 山口市立秋穂図書館

- 山口県山口市

▶▶▶ 選評

この建物は山口市瀬戸内の秋穂湾から少し内陸に入り込んだ緑豊かな水田地帯に位置するコミュニティセンターである。

どこまでも続く田園地帯から近づいていくと、低く抑えられた大屋根の軒先から、緑と青い空が一体となって目に飛び込んできた。

この建物は地域の人たちが交流するセンターとアリーナ・図書館を持つ複合施設である。敷地の広さをうまく利用した配置計画は計画学的な模範解答ではあるが、センターに置かれた八角形の会議室が間延びするスケールをヒューマンに抑え込み、空間に緊張感を与えている。建物の諸室は瀬戸内海に浮かぶ小島のように配置され、ロビーを中心として人がたまる場を、スキマを使って雁行配置でつなぐ手法は見応えがある。外と内を相互貫入させ、風と光を呼び込み、快適な小空間を演出している。低く抑えられた天井は地場産の杉板がルーバー状に張られ、外部の軒下までつながり、内外を連結し空間に深い陰影を与えている。

ランダムに配置された鉄骨の柱がリズム感を生み出し、全体の雰囲気をお優しく包んでいる。このようにそれぞれの部屋が見え隠れする手法は、訪れた人を奥へ奥へと移動させる。間仕切りのない開放的な図書館は子どもたちの本との出会いを楽しく演出している。

地域の人たちが気軽に利用できる施設として高く評価したい。

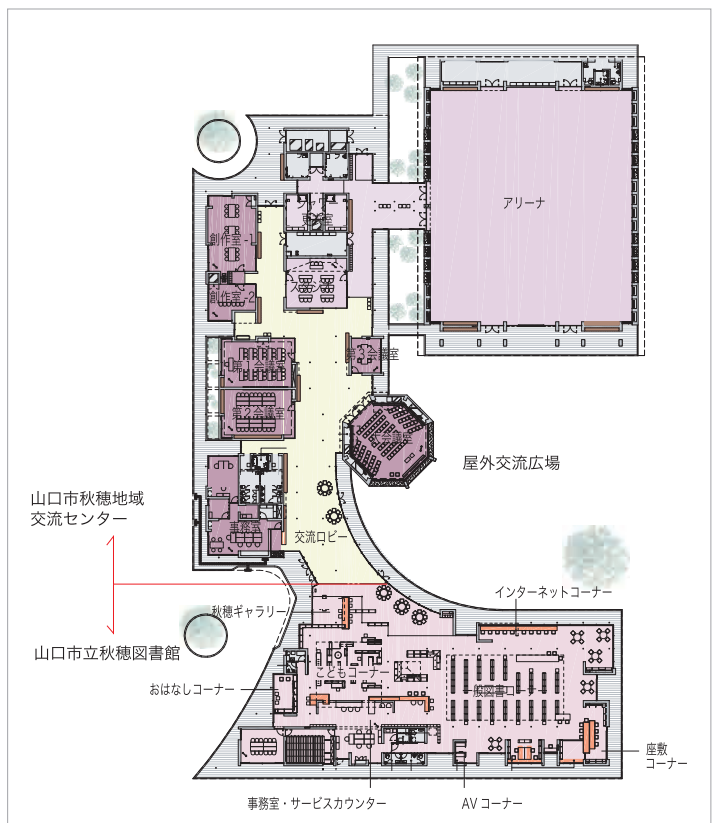
(竹原義二)



A



B



平面図



C



D

- A : 交流ロビー
- B : 交流ロビーから中庭を見る。
天井には地場産の杉材を使用
- C : 全景。大屋根がさまざまな
ヴォリュームをつなぐ
- D : 八角形のホール内部。
窓の向こうには屋外交流広場が広がる
- E : 図書館。間仕切りがなく、
書架が交流ロビーにも展開する

- 構造・階数：鉄筋コンクリート造＋
一部S造、地上1階建
- 敷地面積：15,000.00㎡
- 建築面積：3,869.00㎡
- 延床面積：3,550.99㎡
- 竣工：平成21年12月31日



E